

UNI-PEX

車載用

ミキサーアンプ

取扱説明書

NX-9400



このたびは、車載用ミキサーアンプをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

安全上のご注意〈必ずお守りください〉

- ご使用の前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、必ず保存してください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災の原因となります。ただちに電源スイッチを切り、販売店などにご連絡ください。



工事は工事店に依頼する

工事には、技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。工事店にご相談ください。



分解／改造はしない

火災の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



異物を入れない

水や金属が内部に入ると、火災の原因となります。ただちに電源スイッチを切り、販売店などにご連絡ください。



表示された電源電圧以外の電圧で使用しない

火災・感電の原因となります。



運転中に複雑な操作はしない

交通事故やけがの原因となります。



運転の視界や操作を妨げる場所に取り付けない

運転視界を妨げる場所やブレーキペダル付近などに取付、配線すると交通事故の原因となります。



パイプ、タンク、配線などを傷つけない

車体に穴をあけるとときパイプ、タンク、配線などに傷を付けると交通事故や火災の原因となります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



高温部に設置しない

エンジンルームや温風吹き出し口のそばに設置すると、ケーブルが溶けて、火災の原因となります。



水のかかるところへ設置しない

雨や水のかかるところへ設置すると、火災の原因となることがあります。



振動の多い場所や、不安定な場所に設置しない

ゆるみやはずれで落下し、交通事故やけがの原因となることがあります。



取付ねじはしっかり締める

落下して、交通事故やけがの原因となります。



正しく配線する

取扱説明書の通りに配線しないと、事故や火災の原因となります。



電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。



オーディオ機器、アンテナなどの機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。



1年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。

各部の名称と説明（前面）

ワイヤレス音量調節つまみ

別売のワイヤレスチューナーユニット組込時、ワイヤレスマイクの音量を調節します。なお、ワイヤレスチューナーユニット側の音量調節つまみは最大に設定しておいてください。

ブランクパネル

マイク3音量調節つまみ

マイク2 音量調節つまみ

マイク1 音量調節つまみ

電源スイッチ・電源表示灯（赤）
押すと電源が入り、電源表示灯が点灯します。再び押すと切れます。

マイク1入力ジャック

(-46dBV 600Ω 不平衡)

マイク2入力ジャック

(-46dBV 600Ω 不平衡)

マイク3入力ジャック

(-46dBV 600Ω 不平衡)

出力表示灯（緑／赤）

赤色のLEDが連続して点灯しないように各音量を調節してください。

イコライザー調節つまみ

イコライザー調節をおこなうときは、このつまみを押しパネル面より出してください。調節が終わりましたら、もとどおりに押し込んでください。4ページの説明をご覧ください。

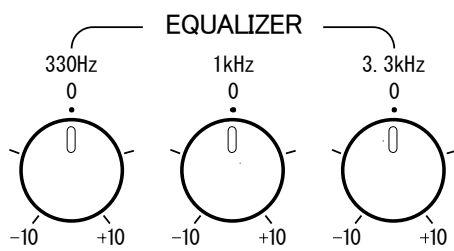
スピーカー選択スイッチ・表示灯（緑）

スピーカー選択スイッチを押すと、表示灯が点灯し、対応する電力アンプが動作します。詳しくは5ページの「スピーカー選択スイッチの説明」をご覧ください。

マイクロホンの上手な使い方

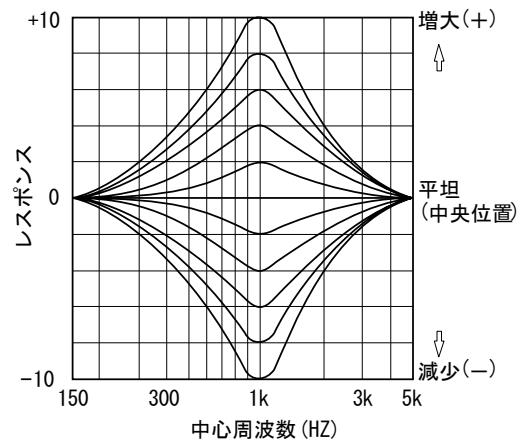
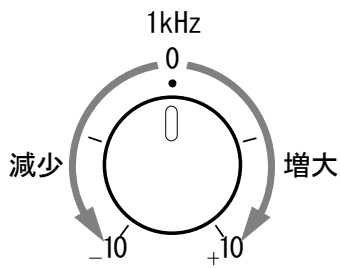
- マイクロホンを効果的に使うために、特に注意しなければならないのが、ハウリング（キーンと言う音）です。これは、スピーカーから出てきた音が、マイクロホンに戻り、音が循環することから起る現象です。これを防止するためには、音源以外の音をとらえにくい単一指向性マイクを使用し、マイクとスピーカーの位置に注意しながら設置することで、ハウリングの発生を避けることができます。
- マイクロホンを使用する場合は、極端に口元に近づけたり離したりせずに、なるべく一定の距離で使用してください。この距離は、2～5センチメートルぐらいが理想的です。また、マイクロホンには息をふきかけないように注意して使用してください。
- マイクロホンを手で持ち使用する場合は、マイクの頭を手でにぎらないでください。マイクの頭を手でふさぐと低音だけが強調され、忠実な拡声ができませんので、正しくマイクの中央部ににぎってお使いください。

イコライザー調節つまみの説明



3ポイント（330Hz・1kHz・3.3kHz）の各周波数でのレベルを+10dB～-10dBまで連続的に変化させるための調節つまみです。各音場に合わせ、3ポイントの周波数特性を必要に応じて補正することにより、マイク放送時のハウリング（キーンという音が出る）を抑えたり、反響の多い場所で明瞭度を上げるのに効果があります。

周波数特性のレベル調節とめやす



- つまみ位置が中央でフラットな周波数特性です。
- つまみを「+」方向でレベルが最大10dB増大します。
- つまみを「-」方向でレベルが最大10dB減少します。

イコライザー調節のめやす

<p>● 反響が少なく広い場所</p>	<p>● 市街地の反響が多い場所など</p>	<p>● 放送者の声がかれたときなど</p>
<p>● 放送者のことばが不明瞭なときなど</p>	<p>● 普通のしゃべりかたでなく力強いしゃべりかたのときなど</p>	
<p>● テープで音楽を放送するときなど</p>	<p>● テープで人の声を放送するときなど</p>	<p>● 通常の場合</p>

注) この表は、ホーンスピーカー（トランペットスピーカー）を使用するときのめやすです。立地条件、男女の別、テープの種類などにより必ずしもこの表のとおりではありませんので、適当に調節してお使いください。

スピーカー選択スイッチの説明

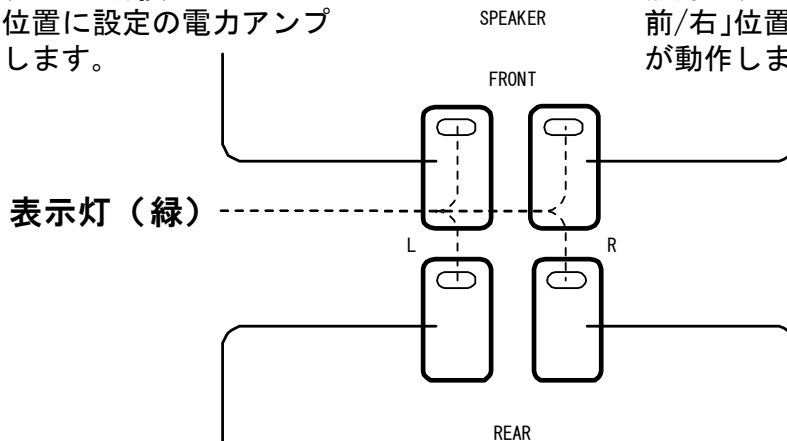
- 本機を接続した電力アンプのモード切換スイッチの設定に対応します。スピーカー選択スイッチを押しますと、表示灯が点灯し、対応する電力アンプが動作します。接続スピーカーの設置場所に合わせて、電力アンプのモード切換スイッチの設定をおこなってください。

前左スピーカー選択スイッチ

このスイッチを押すと表示灯が点灯し、モード切換スイッチが「前/左」位置に設定の電力アンプが動作します。

前右スピーカー選択スイッチ

このスイッチを押すと表示灯が点灯し、モード切換スイッチが「前/右」位置に設定の電力アンプが動作します。



後左スピーカー選択スイッチ

このスイッチを押すと表示灯が点灯し、モード切換スイッチが「後/左」位置に設定の電力アンプが動作します。

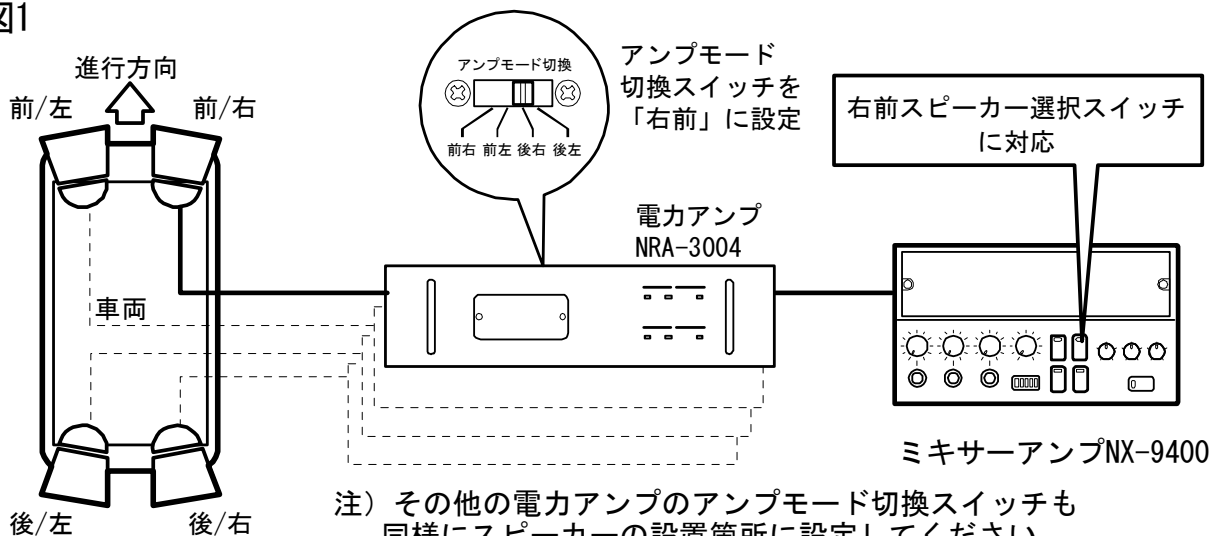
後右スピーカー選択スイッチ

このスイッチを押すと表示灯が点灯し、モード切換スイッチが「後/右」位置に設定の電力アンプが動作します。

例)接続したスピーカーが車両の前方・右側に設置されている電力アンプの設定 (NRA-3004の場合)

- ・モード切換スイッチは「前右」に設定します。本機の前右スピーカー選択スイッチを押せばそのアンプが動作し、前方・右側のスピーカーより音声が出ます。(図1参照)

図1



注) その他の電力アンプのアンプモード切換スイッチも同様にスピーカーの設置箇所に設定してください。

各部の名称と説明（後面）

ワイヤレスアンテナ 接続ピンジャック (A)

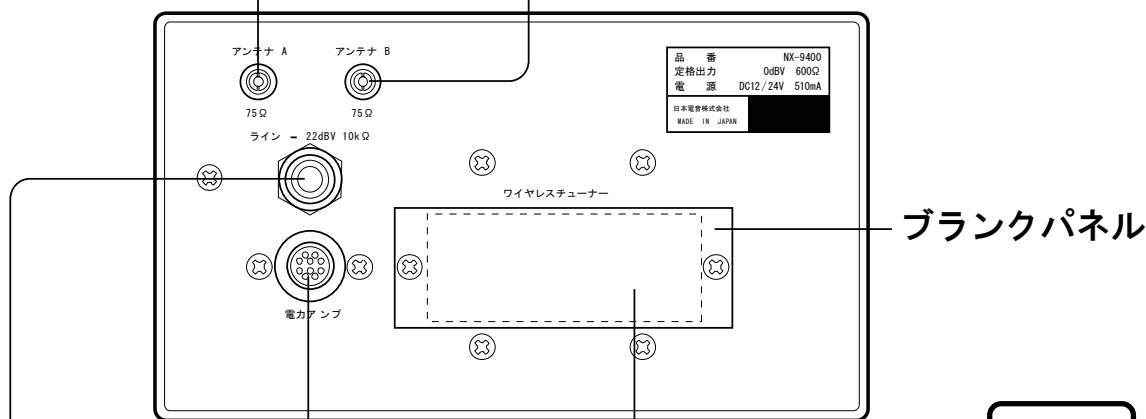
別売のワイヤレスアンテナAA-3800を接続してください。

シングルワイヤレスチューナーユニットSU-3000組込時は、必ずこのジャック（アンテナA）にアンテナを接続してください。誤ってアンテナB側に接続されても、ワイヤレスマイクの受信はできませんので、ご注意ください。

ワイヤレスアンテナ 接続ピンジャック (B)

別売のワイヤレスアンテナAA-3800を接続してください。

ダイバシティーワイヤレスチューナーユニットDU-8130または、DU-3200組込時に限り、使用してください。シングルワイヤレスチューナーユニットSU-3000組込時は使用しないでください。



ライン入力ジャック (-22dBV 10kΩ 平衡)

外部機器を接続してください。音量調節は接続される機器側でおこなってください。

電カアンプ接続コネクタ

別売のミキサー接続コードLB-710で電カアンプに接続します。

ワイヤレスチューナーユニット挿入部

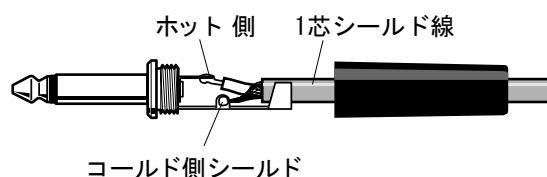
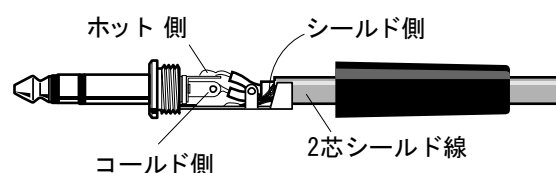
ワイヤレスマイクをご使用の場合は必ず電源を切ってからblankパネルをはずし、別売のワイヤレスチューナーユニットを組込んでください。8ページの「ワイヤレスチューナーユニット組込方法」をご覧ください。

P. 8

プラグの接続について

- ライン入力ジャックに外部接続機器を接続する場合は機器の出力方式を確認し、接続プラグを平衡、不平衡のいずれかで接続してください。ステレオ機器の場合はモノラルに切替えるか、L/R両チャンネルを並列に接続してください。(図2参照)

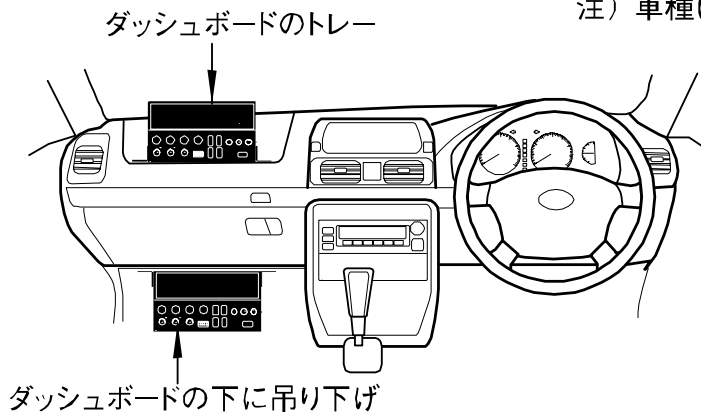
図 2 ■マイク及びライン入力プラグ



取付方法

- 本機の取付箇所は車種によって異なりますが、図3のように付属のL形取付金具を利用しダッシュボードのトレーや下部に取り付けてご使用ください。
(図3、4参照)
- 付属のL形取付金具2本を本機左右側面に図4のように取付けてください。
- ダッシュボードの下部に取り付ける場合はケース側面上部の穴に金具を取付けてください。(図3、4参照)

図3



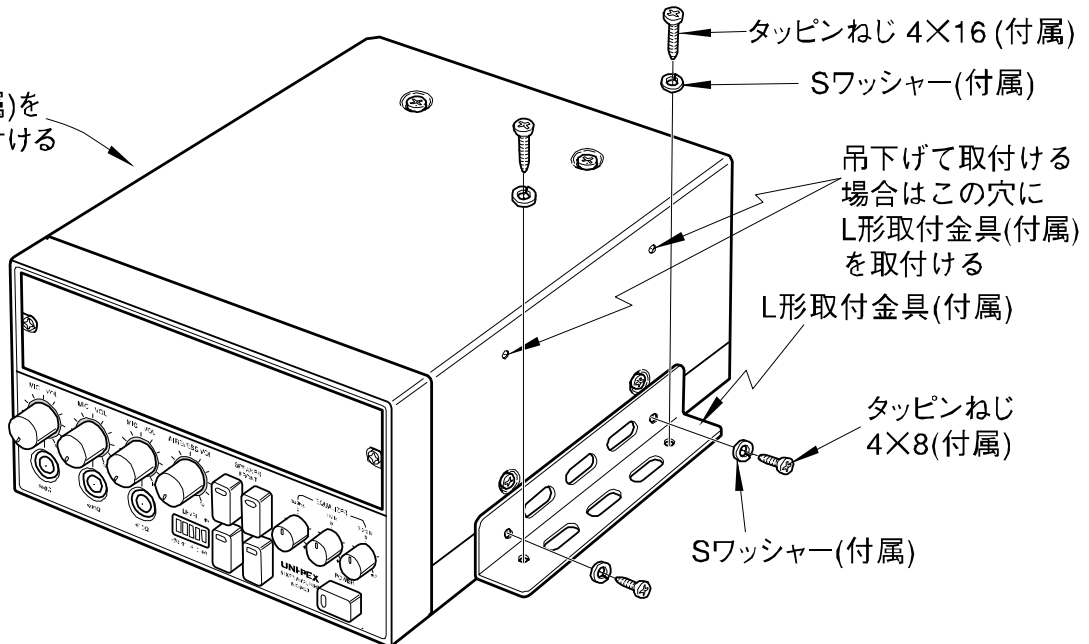
注) 車種により取り付かない場合があります。

警告

エアバッグ装着車はエアバッグの装着箇所やその付近に取り付けない。エアバッグの作動不良による事故や、けがの原因になります。

図4

L形金具(付属)を両側面に取付ける



警告 運転の視界や操作を妨げる場所に取付けない。運転視界を妨げる場所やブレーキペダル付近などに取付、配線すると交通事故の原因となります。

ワイヤレスチューナーユニットの組込方法

●本機は別売のワイヤレスチューナーユニットを組み込んで使用します。(下表参照)

◇適合ワイヤレスチューナーユニット

形 式	受信周波数帯	品 番
ダイバシティ	800MHz帯	DU-8130
	300MHz帯	DU-3200
シングル	300MHz帯	SU-3000

※DU-8030は組込不可

図 5

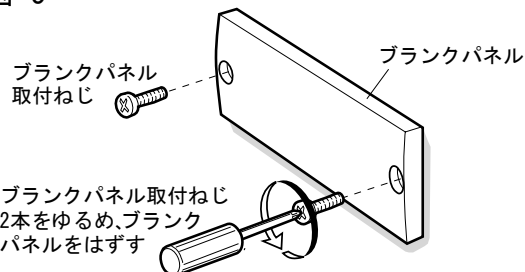


図 6 DU-8130、DU3200の場合

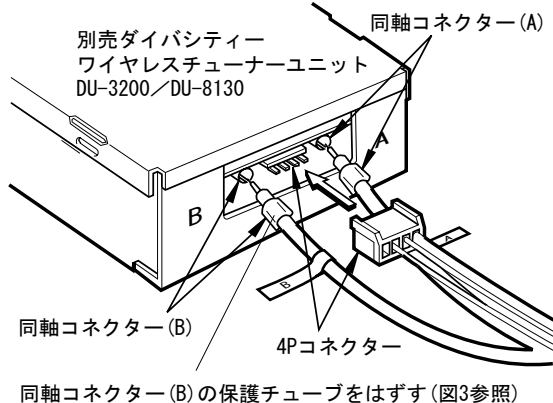
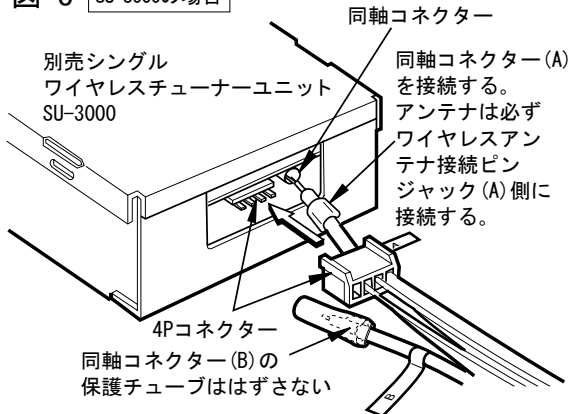


図 7 同軸コネクタ(B)の保護チューブをはずす



図 8 SU-3000の場合



1. ブランクパネルをはずす

ブランクパネル取付ねじをはずし、ブランクパネルをはずしてください。(図5参照) ブランクパネルの裏側には4Pコネクタと同軸コネクタ(A)が固定されていますので、それらをブランクパネルから取りはずしてください。

2. 各コネクタを接続する

DU-8130、DU3200の場合

◇ダイバシティワイヤレスチューナーユニットを組み込む場合は、図6のように同軸コネクタ及び4Pコネクタを接続してください。同軸コネクタは必ず、同じ表示(A・B)のものと同軸コネクタを接続してください。

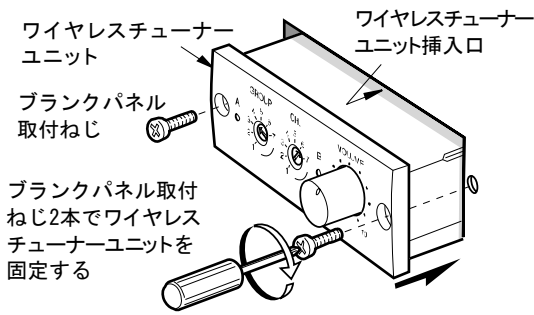
- ・同軸コネクタ(B)の保護チューブは接続前にはずしてください。(図7参照)

SU-3000の場合

◇シングルワイヤレスチューナーユニットを組み込む場合は図5のように同軸コネクタ(A)※及び4Pコネクタを接続してください。

- ※ アンテナは必ずワイヤレスアンテナ接続ピンジャック(A)側に接続してください。

図 9



3. **ワイヤレスチューナーユニットを組み込む**
ワイヤレスチューナーユニットを本機のワイヤレスチューナーユニット挿入口に挿入してください。取り付けには、空白パネル取付ねじ2本を使用してください。(図9参照)

4. **受信チャンネルを設定する**
受信チャンネルの設定のしかたはワイヤレスチューナーユニットの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

取付作業をおこなう場合は必ず、本機の電源を切ってください。

・空白パネルから4Pコネクターをはずす際には空白パネルのロックのツメをはずしてから取りはずしてください。

チューナーユニット挿入時には、接続コードをはさみ込まないように注意してください。

チューナーユニットの音量調節つまみを、必ず最大に設定してください。

組み込まれるワイヤレスチューナーユニットの取扱説明書もよくご覧ください。

ワイヤレスマイクの使い方

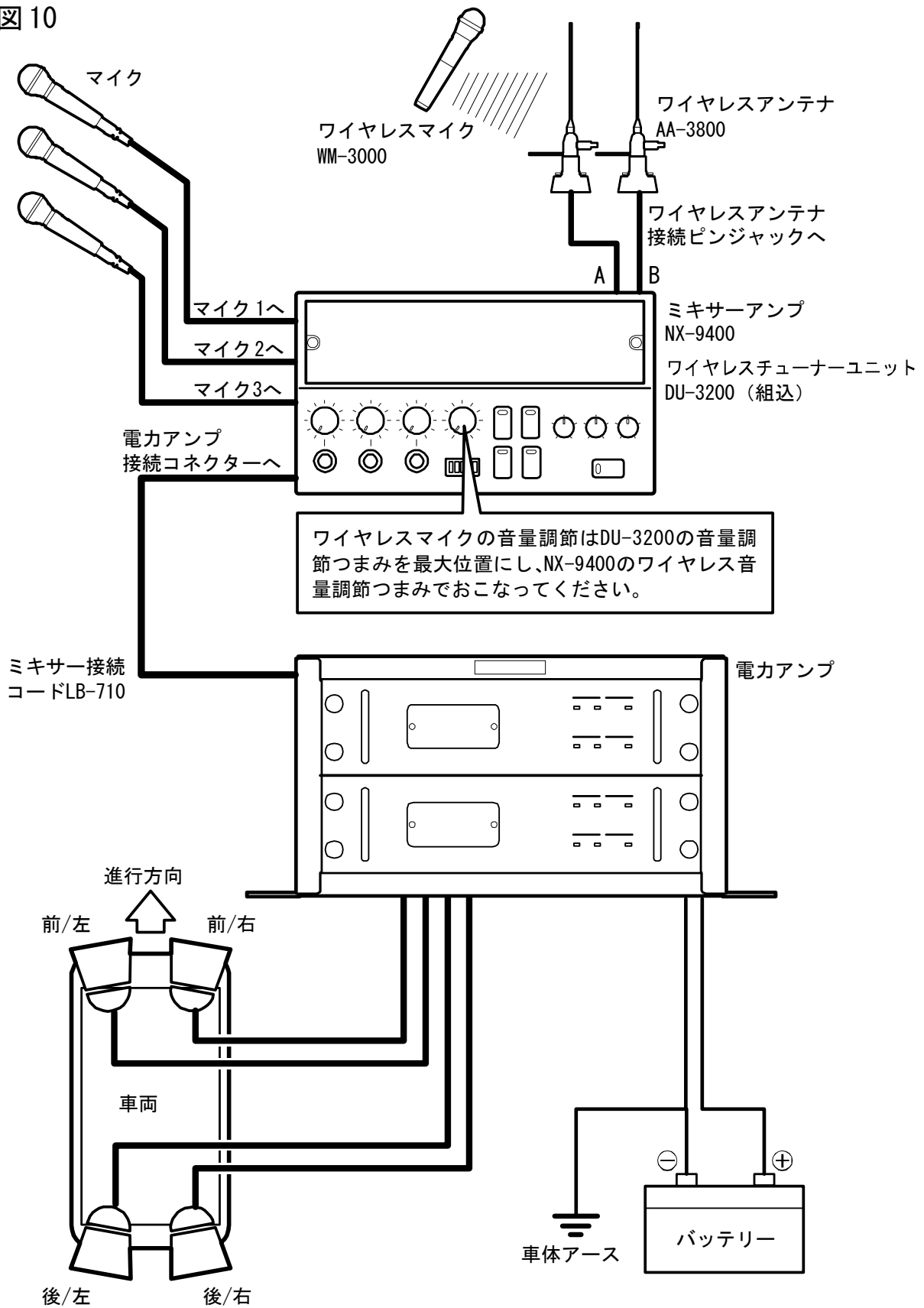
- ワイヤレスマイクは、本機に組み込まれたチューナーユニットと同じチャンネルのものをお使いください。ただし同一送信周波数のワイヤレスマイクを同時に2本以上使用することはできません。
- 雑音が入る場合は、ワイヤレスマイクをアンテナに近づけてご使用ください。そのときの距離を2m~10mにしてください。
- 使用するワイヤレスマイクの取扱説明書もよくお読みください。

アンテナ設置上のご注意

- 本機には、300MHz帯、800MHz帯両用の車載用ワイヤレスアンテナAA-3800を接続してください。
- シングルワイヤレスチューナーユニットSU-3000組込時は、必ずアンテナを本機のワイヤレスアンテナ接続ピンジャック (A) 側に接続してください。
- アンテナはスピーカー、キャリア、看板など車載取付機器の影になるような場所を避け、ワイヤレスマイクの移動範囲よりアンテナを直視できる位置に設置してください。また、あらかじめワイヤレスマイクの移動範囲内で受信テストをおこないデッドポイントが最も少ない所を選んでください。
- 使用するワイヤレスアンテナ取扱説明書もよくお読みください。

相互接続図（例）

図 10



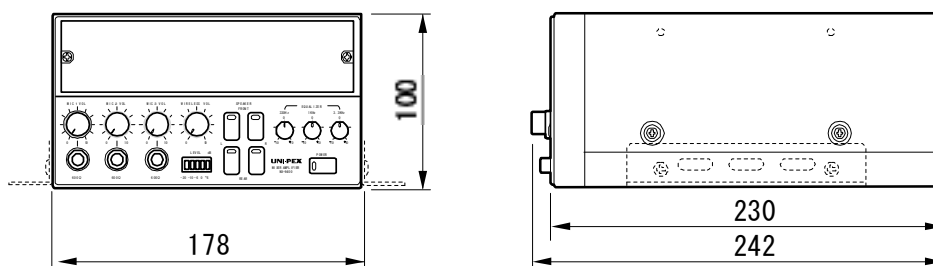
携帯電話の使用について

- 本機の近傍で携帯電話を使用しますと、雑音発生の原因になることがあります。本機使用中に携帯電話を使用する場合は充分にご注意ください。

定格

使用電源	DC 10V～32V (標準14V/28V) 12V/24Vバッテリー マイナスアース専用 (電力アンプより受電)
消費電流	510 mA以下
定格出力	0dBV 600Ω 平衡 (専用プラグ付コードにて電力アンプと接続)
ひずみ率	1%以下
周波数特性	200Hz～10kHz ±3dB (1kHz基準)
入力感度及びインピーダンス	マイク1/2/3: -46dBV 600Ω 不平衡 音量調節器付 (平衡トランス取付可) ライン: -22dBV 10kΩ 平衡 カセット: -22dBV 10kΩ 不平衡 ワイヤレス: -26dBV 10kΩ 不平衡 音量調節器付
音質調節	イコライザー (3ポイント: 330Hz、1kHz、3.3kHz) ±10dB
信号対雑音比	60dB以上
動作表示	電源: 発光ダイオード 赤 1 出力: 定格内 発光ダイオード 緑 3 過入力 発光ダイオード 赤 2 スピーカー選択: 発光ダイオード 緑 4
使用温度範囲	-10℃～+55℃
外装	パネル: ABS樹脂 マンセルN1 近似色ブラック ケース: ビニール鋼板 マンセル N1 近似色ブラック
外形寸法	幅178mm 高さ100mm 奥行242mm
質量	約1.9kg
付属品	取扱説明書 (保証書付)1、3極大形単頭プラグ 1、L形取付金具 2、 タッピンねじ (4×8) 4、タッピンねじ (4×16) 4、Sワッシャー 8
適合品	800MHzダイバシティーワイヤレスチューナーユニット DU-8130、 300MHzダイバシティーワイヤレスチューナーユニット DU-3200、 300MHzシングルワイヤレスチューナーユニット SU-3000、 車載用ワイヤレスアンテナ AA-3800、平衡トランス LT-16

外観寸法図 (単位:mm)



製造元 日本電音株式会社
発売元 ユニペック株式会社